

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3144660号
(U3144660)

(45) 発行日 平成20年9月11日 (2008.9.11)

(24) 登録日 平成20年8月20日 (2008.8.20)

(51) Int.Cl.

F 1

A 6 1 F 5/451 (2006.01)

A 6 1 F 5/451

V

A 6 1 F 5/44 (2006.01)

A 6 1 F 5/44

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-2714 (U2008-2714)

(22) 出願日 平成20年4月1日 (2008.4.1)

(73) 実用新案権者 503183499

エス・エー・エス株式会社

東京都台東区台東 1-1-14

(73) 実用新案権者 593167311

三嘴 清彦

神奈川県横浜市中区矢口台 178 の 5 番地

(72) 考案者 三嘴 清彦

横浜市中区矢口台 178-5

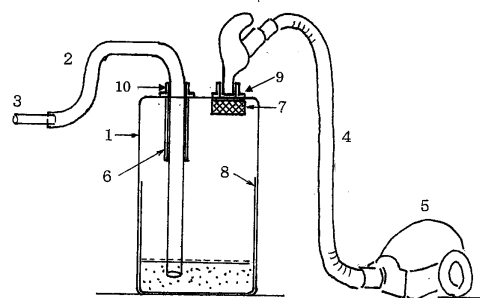
(54) 【考案の名称】 介護用汚物収納タンク

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】寝たきり老人の排泄後処理をを誰でも、ある程度手軽、かつ安全で清潔に、更に低価格で実現するタンクを提供する。

【解決手段】掃除機 5 が ON 状態になればその吸引力はホース 4 によってタンク 1 内が激しく減圧する。その減圧力はホース 2 によってノズル 3 に伝わり排泄物を吸引する。吸引された排泄物はホース 2 によりタンク内に取り込まれ底の水の中に落とし込まれることになる。タンク内では処理しやすい様にポリ袋 8 が張られ掃除機 5 による十分な吸引力は底水が存在しても大きく損なわれる事はない。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

水による霧散防止機能と気水分離を目的とした 10 数リットルの容量を持つ金属又は樹脂にて形成される汚物収納タンクに於いて、タンクの底に水を張り、上部は機密性を保ちつつ開閉もしくは取り外し可能な蓋構造とするも吸入孔より取り込んだ吸入ホース先端は底水の中に入れ排出孔は天板となる上部に設けて吸い込んだ半液状排泄汚物をタンク内面に張られたポリ袋又は容器に落とし込む介護用汚物収納タンク。

【請求項 2】

上記汚物収納タンクに於いて、被介護者の汚物に接するホースの先端は着脱可能形状として適度な硬さを持つ紙もしくは樹脂で製作し燃やせるゴミとして製作された吸入ホース先端ノズル。

10

【請求項 3】

上記汚物収納タンクに於いて排気孔を一般家庭に普及している家庭用掃除機の間ジョイント部に適合するサイズに選ばれた汚物収納タンク

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

福祉分野に於ける介護者と被介護者の関係に於いて被介護者の排泄物処理は介護する者、される者にとって、大変重要で手間のかかる困難な仕事になっている。その為現状では一部を除いて多くは尿漏れパッドと水分を通しにくくされたオムツの併用にて処理しているのが現状である。

20

【0002】

後述する本発明は、寝たきり老人を誰でも、ある程度手軽・かつ安全で清潔。更に低価格で実現する為の機材である。

【背景技術】**【0003】**

排泄物処理の困難性は被介護者の介護レベルとその内容によって多岐にわたり、例えば足腰は健常でも痴呆性のある者・その逆の場合・更に老若男女でその対応は様々であるが、多くは先述したオムツと尿取りパッド及び介護者の努力に依存してきた

30

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

本発明の目的は介護者の負担を軽減すべく考案されたものである。介護制度が確立し介護者に於いても清潔で確実・安全・低価格でサービスが受けられれば心に安心が増す効果は計り知れない。

【課題を解決する為の手段】**【0005】**

被介護者の排泄物をあたかも掃除機がゴミを吸い取るが如く吸引する為に、気水分離機能を持ったタンクを介在して排泄物を吸引する。

40

【0006】

排泄物の吸引のみならず臭気も低減する為に水をはり油性消臭液を油膜として水面にはらせれば悪性臭気は大幅に軽減できる。

【0007】

排気孔口にセラミック等の消臭効果を持ったフィルターを設ければ更に消臭効果が高まる。

【0008】

本考案の吸入孔に導かれるホースは汚物で他を汚さない様、清潔にかつ被介護者にも安全に接触吸引する為、程よい硬さを持ったダンボール又は樹脂による筒状パイプが選ばれるも半固化された汚物を操作者が碎ける程度の固さは具備しなければならない。

50

【0009】

本考案による汚物吸引ノズル(3)は、吸引した汚物が汚物タンク吸入ホース(2)内で詰まりを起こすと厄介なので、汚物タンク吸入ホース(2)内で詰まりを起こさない様に汚物吸引ノズル(3)の外径を、汚物タンク吸入ホース(2)の内径より若干小さく選ぶ事により、詰まりが生じた場合、詰まりを汚物吸引ノズル(3)内で起こさせて、着脱可能な構造にし、容易に清掃できる様にする、即ち人が操作する第一のフィルターの役割を担う。

【0010】

本考案に於ける汚物タンク(1)の排出孔は、消臭フィルター(7)を通して掃除機(5)の吸入ホースに接続される。一般に普及している家庭用掃除機の吸入ホースは中間ジョイント部に於いて、おおむね外径40mm程度で統一されているから、それに適合する排出孔を設ける。空気漏れを防ぐ為にテーパ構造をとる。

10

【考案の効果】

【0011】

本案は先述した如く介護者の負担を軽減する為に発明されたもので、本機の使用に拠り、介護者の心理的負担感が著しく軽減することは明白である。

【0012】

医療機関などに於いては一人の介護者がより多くの介護者の排泄処理が可能となる為、経営効率の向上にも役立つ

【考案を実施する為の最良に形態】

【0013】

本案を説明する為に実施例に基づいて以下説明する。

20

【実施例】

【0014】

図1は本発明の具体的構成図である。先述した如く本発明は寝たきり寝たまま老人をそのままの状態家庭用の掃除機を利用した排泄後処理の介助機である。

【0015】

掃除機5がON状態にあればその吸引力はホース4によってタンク1内が激しく減圧する。その減圧力はホース2によってノズル3に伝わり排泄物を吸引する。吸引された排泄物はホース2によりタンク内に取り込まれ底の水中に落とし込まれることになる。タンク内では処理しやすい様にポリ袋が張られ掃除機による十分な吸引力は底水が存在しても大きく損なわれる事はない。

30

而して霧状汚物が掃除機に流れ込む事を防ぐことができる。

【0016】

ホースガイド6及び消臭フィルター7は本気の主目的を補助する為のものである。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図1】本発明に掃除機を組み合わせた図である。

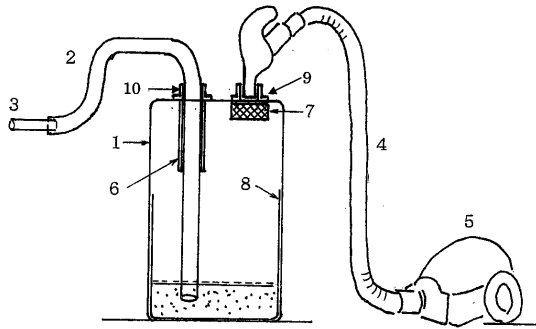
【符号の説明】

【0018】

1. 汚物タンク
2. 汚物タンク吸入ホース
3. 汚物吸引ノズル
4. 掃除機吸入ホース
5. 掃除機
6. ガイドホース
7. 消臭フィルター
8. ポリ袋
9. 排出孔
10. 吸入孔

40

【 図 1 】



【 手続補正書 】

【 提出日 】平成20年6月12日(2008.6.12)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】実用新案登録請求の範囲

【 補正対象項目名 】全文

【 補正方法 】変更

【 補正の内容 】

【 実用新案登録請求の範囲 】

【 請求項 1 】

水による霧散防止機能と気水分離を目的とした10数リットルの容量を持つ金属又は樹脂にて形成される汚物収納タンク(1)に於いて、タンクの底に水を張り、上部は気密性を保ちつつ開閉もしくは取り外し可能な蓋構造とするも吸入孔(10)より取り込んだ吸入ホース(2)の先端は底水の中に入れ排出孔(9)は天板となる上部に設けて吸い込んだ半液状排泄汚物をタンク内面に張られたポリ袋又は容器(8)に落とし込む介護用汚物収納タンク。

【 請求項 2 】

請求項1にて記載された装置に於いて、被介護者の汚物に接するホース(2)の先端は着脱可能形状として適度な硬さを持つ紙もしくは樹脂で製作し燃やせるゴミとして製作された吸入ホース先端ノズル。

【 請求項 3 】

請求項1にて記載された装置に於いて排気孔(9)を一般家庭に普及している家庭用掃除機の間ジョイント部に適合するサイズに選ばれた汚物収納タンク。